

《第 1 課題》

課題図（組立図）から寸法形状を読み取り、所定の部品（照合番号①）の製作図面を作成する。そのため、指定された主投影図を中心に、平面図、左・右側面図、平面図、下面図、背面図、及び必要に応じて局部投影図を描く課題である。

課題が非対称であるため、3D-CAD を使用した方が有利のように思われたが、部品形状の把握が不完全なまま 3D-CAD の能力で強引にモデリングしようとすると失敗する。

《第 2 課題》

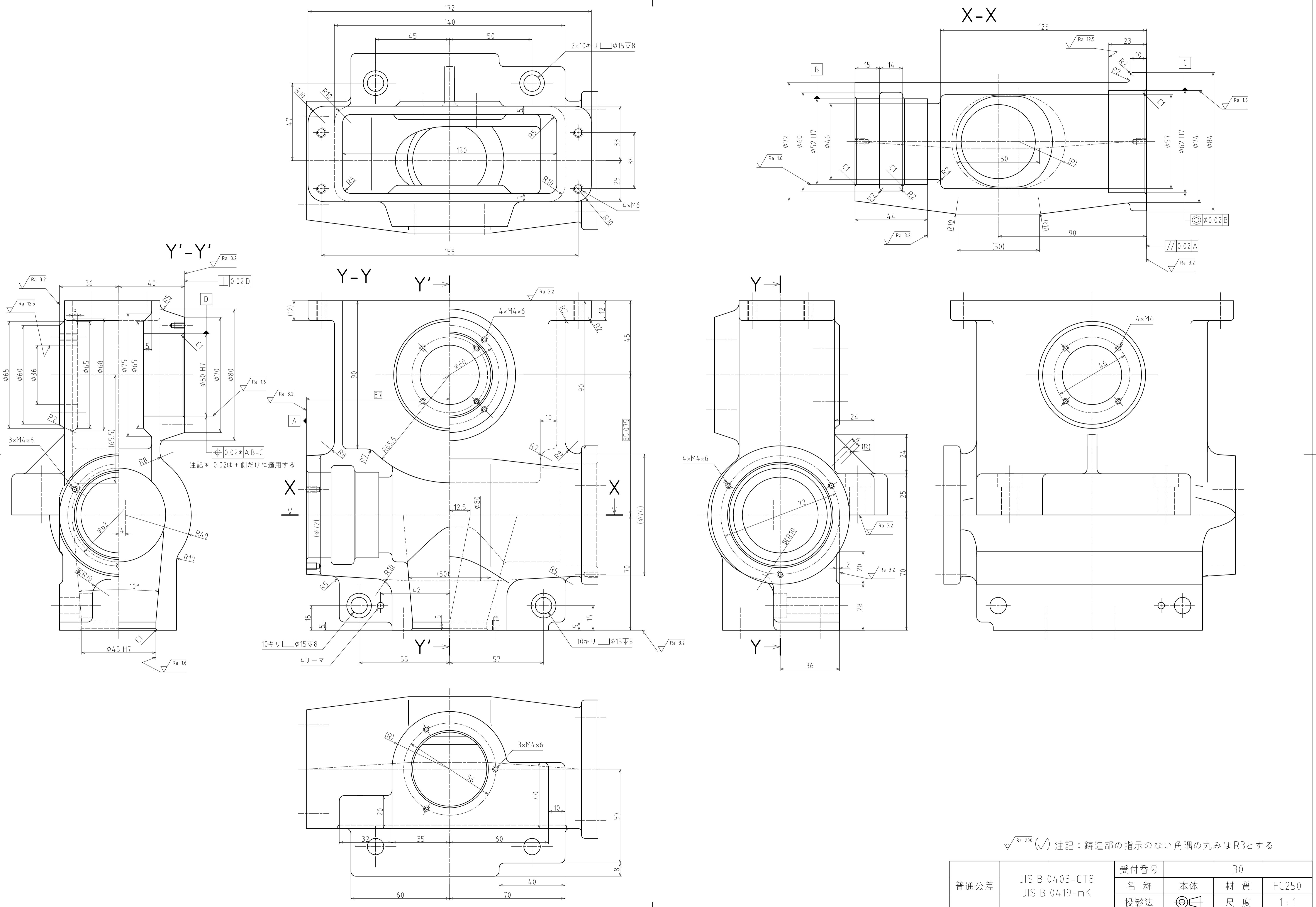
与えられた実物モデル 4 部品を測定して 3D-CAD でモデリングして体積を算出するとともに、その中の 1 部品（照合番号①）を第三角法で投影して寸法を記入する課題である。

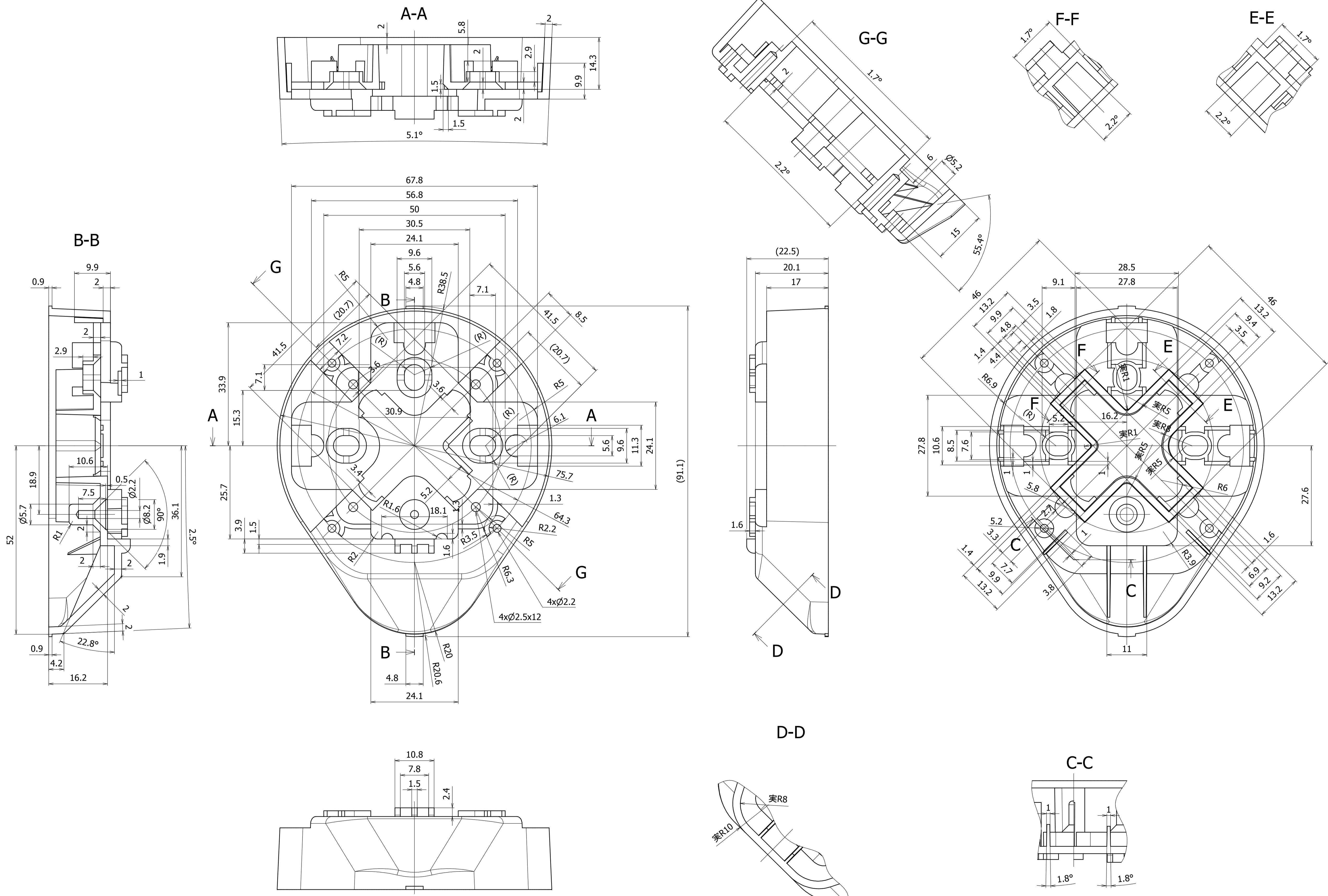
限られた時間内でモデリングするためにはそれなりの正確さと速さで 4 部品を測定する必要がある。解答図で各部分の形状寸法は記入されてあっても、肝心の基準軸（面）からの位置寸法が書かれていらないケースが多々見受けられた。

《総括》

全体的に選手の CAD 能力は非常に高く、競技時間がそれ相応にあれば、ほぼ全員が完成のレベルにあると思われます。ここまで各選手を指導された指導員の方々に敬意を表すとともに、次回でのご健闘を期待します。

以上





注:指示のない角隅の丸みはR2とする。

投影法		尺度	2:1	受付 番号	30
-----	---	----	-----	----------	----

